

東日本国際大学・いわき短期大学の 広野センターが開所



↑看板設置の様子

7月31日、学校法人昌平賢の東日本国際大学・いわき短期大学がニツ沼総合公園内のパークギャラリーに「福島復興創世研究所」を設置し、同所で開所式を実施しました。この研究所は、両大学の広野センターとして位置づけられ、心の復興や町内小・中・高に対するスポーツ支援など8項目について広野町と連携して取り組むこととしてます。

町道下浅見川線、 町道高萩・田中線が全線開通



↑開通式での記念撮影

8月4日、鍛冶屋前踏切からひろの防災緑地までの町道下浅見川線、広野防災緑地に接続する日の出橋から高萩地区を通る町道高萩・田中線が全線開通し、開通式が行われました。式には浦船復興庁いわき支所長、小池富岡土木事務所長、黒田広野議会議長、根本第13行政区長らが来賓として出席しました。

広野町放射線健康対策委員に 委嘱状を交付



↑委嘱状交付の様子

7月24日、広野町放射線健康対策委員6人に遠藤町長から委嘱状を交付しました。広野町放射線健康対策委員は、前身となる広野町除染検証委員会から名称を変え、住民の放射線から健康影響を客観的に評価するとともに、放射線への理解を深めることを目的として、有識者により構成されています。

日本赤十字社福島県支部奉仕団が 災害救護訓練を実施



↑AED使用訓練の様子

7月22日と23日、日本赤十字社福島県支部奉仕団がニツ沼総合公園を会場に災害救護訓練を実施しました。この訓練は、赤十字社奉仕団員とボランティアが力を結集し、円滑な活動を展開するために必要な知識と技術を習得するために実施されました。訓練は、救急法講習や災害救護訓練、全国アマ無線通信訓練など多岐にわたって行われ、参加者は真剣に取り組んでいました。

遠藤町長も日赤広野町分団長として出席し、訓練の様子を視察するとともに、AEDの使用訓練にも参加しました。

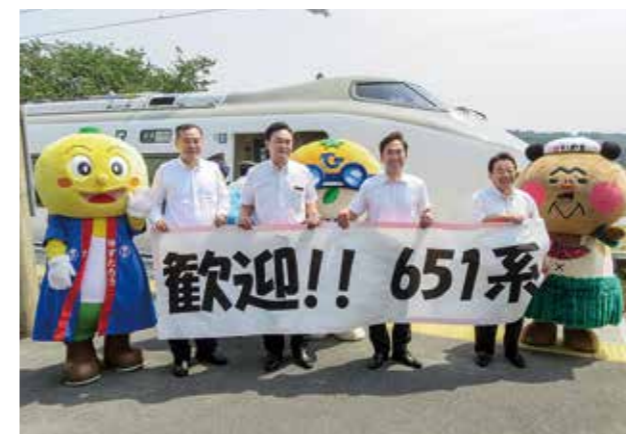
福島県知事が来町



↑給食を一緒に食べる内堀知事

7月19日、内堀雅雄福島県知事が広野町を訪れ、広野小・中学校や総合グラウンド周辺の文教施設を視察しました。また、広野中学校では3学年の生徒と一緒に給食を食べ、物おじしないで質問する生徒たちに感心していました。このほか、広野町役場で町の復興状況などについて意見交換し、町職員に対して激励を行いました。

特急型車両が運行開始



↑歓迎セレモニーの様子

7月22日、JR常磐線のいわき駅-竜田駅間を走る一部の車両に「スーパーひたち」で親しまれていた特急型車両が普通列車として運行されました。沿線には特急型車両を一目見ようと、カメラを構えた方が多数見られました。到着した竜田駅では歓迎のセレモニーが行われ、広野町、いわき市、楢葉町のイメージキャラクターが降車してくる乗客を出迎えました。

広野駅東側ホテル起工式



↑起工式の様子

8月3日、広野駅東側開発地区内の建設するビジネスホテル「ハタゴイン福島広野（仮称）」の起工式が行われました。ひろのプログレス合同会社が建設するもので、ひろの未来オフィスの南側に約6,200平方メートルの敷地に重量鉄骨造り7階建てで、222室の客室と多目的ホールなどが設けられる予定です。ホテルは平成30年9月の竣工を予定しています。

広野駅東側開発地区に花を植栽



↑参加者と記念撮影

7月27日、広野駅東側開発地区内の緑地公園で、「ふくしまを花で飾ろう『市町村の花』の花壇プロジェクト」が行われ、県の花ネモトシャクナゲと広野町の花ヤマユリを花壇に植えました。この事業は、平成30年度に南相馬市で開催される全国植樹祭の成功を願い実施されました。当日は、広野小学校児童5人とふたば未来学園高等学校の農業系を選択する生徒2人がヤマユリの植栽に参加していただきました。